

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	埼玉県入間市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	入間市文化遺産を活かした地域活性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
入間市総合計画（平成29年策定）及び入間市教育振興基本計画（平成29年策定）を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や文化遺産を活用した地域の活性化を推進するため、下記の取組を実施する。また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。 1 後継者育成のための練習会等の実施 2 おとろうまつりで掲揚する「勝海舟揮毫の幟」の修復 ○入間市総合計画（該当部分の抜粋）は別添のとおり			
6 実施体制			
入間市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。 教育委員会博物館：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 おとろうまつり企画委員会 構成団体（扇町屋第一区自治会、扇町屋第二区自治会、豊岡第三区自治会ほか）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 千円	平成30年度要望額： 1,240 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
事業の実施により、市民の文化遺産への関心が高まるとともに、地域において文化遺産を後世に長く保存・伝承していこうとする意欲が高まることで、地域の活性化が図られることが期待される。 祭り囃子の後継者育成では、地域の文化遺産の構成要素のひとつである無形民俗文化財を後世へ伝承していくことができる。また、明治時代から伝えられてきた勝海舟揮毫の幟を修復して掲揚することで、市民のおとろう祭りへの関心が高まるとともに、幟の製作・掲揚等の一連の事業を通して、参加する住民同士のつながりが強まり、文化遺産を保存・継承していく体制をより強固にしていけることができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	1 後継者育成のための練習会等の実施 おとろうまつりで演奏される祭り囃子の練習会等を実施し、後継者の育成を図る。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
本事業を実施することで地域の一体化が図られるとともに、地域の文化遺産を後世に伝えていこうとする機運が高まることで、地域の文化芸術の振興に発展に繋がる。入間市においては、「入間市総合計画」等に伝統文化活動の伝承を位置づけ、今後も引き続き取り組んでいく。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	入間市教育委員会 教育部 博物館		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	おとろうまつりで演奏する囃子連の構成員数			関連事業:	①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 105 名 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 120 名					
設定根拠 1 :	現在の保存会員の年齢構成による減員分と新規に加入する会員の増員分を勘案して設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
名	名	名	名	名	名	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	おとろうまつりの観光入込客数			関連事業:	①、②	
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 200,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 220,000 人					
設定根拠 2 :	平成28～29年度のおとろうまつりの観光入込客数の伸び率1.0倍を参考に、伸び率を1.1倍に設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	

様式 1－1 別紙②（記入例）

8（2）実施事業の概要 別紙

事業①：	後継者育成事業	実施団体：	おとろろう祭り企画委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	まつりの継承・発展に欠かせない祭り囃子の後継者育成を目的に、各囃子連で練習会を開催し、おとろろうまつり等では練習成果の発表を兼ねた演奏を行う。また、小学校の総合学習や文化活動の場等、様々な機会に演奏を行い、お囃子の魅力を伝えることで新たな会員の確保を図っていく。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	おとろろうまつりで演奏される囃子連の構成員数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 105 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 120 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業②：	勝海舟揮毫の幟修復事業	実施団体：	おとろろう祭り企画委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 年度			
事業概要：	現在掲揚している勝海舟揮毫の幟は、おとろろうまつりのシンボルとしてまつりを活性化させる役割を担っているが、経年劣化により幟旗は毀損し、幟竿にも割れ等が発生し折損の恐れが生じている。このため幟旗は原資料（明治23年制作）をもとに再調し、幟竿は交換修復を行う。					
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	おとろろうまつりの観光入込客数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 200,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 220,000 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	